

百年先にも
この家で家族との時間を
紡いでいてほしい

四季折々の陽射し 風 鳥や虫の声を聴き
地球(ほし)の動きを楽しむ
古い民家には縁側があり
外とのつながりが「やまと」ならではの感性を磨いてきました
また、縁側を通して「ひと」と繋がっていました
私たちは地球(ほし)の一部と知り暮らしてきました
ひとは樹を伐り 菜や実を採り 貝を掘り
魚や鳥を喰らい生きてきました
海と山に育てられ生かされてきたのです



戦後は日本の家も教育も変わりました
個室が与えられ 個々の自由が重視される時代へ
ひとも外との繋がりが薄くなっていきました
しかし今 見直しが始まりました
壁で仕切らない空間で個々が自由に暮らす…
時代が変化しても変わることのない骨組みが
100年先にもひとを育むのです



和築伝承士 伊藤みつやす

長年の建築経験から古来の伝統木構造を次世代に伝え続けることを
理念として掲げてきた。また環境や風土に適合した家づくりを行う中、
「お天道様が見ているよ」という文化と、自身の「軸」づくりである「言霊
(げんれい)」の研究に至る。家づくりは世代を超えてつながる大事業。
「すなお」な「軸」を家にも自身にも。

二級建築士(広島) 13878
宅地建物取引士(広島) 16514
福祉住環境CD二級 0491
古民家再生降幡塾 第一期生
古民家鑑定士(厚生労働省認可)
NPO法人伝統木構造の会 正会員
新木造住宅技術研究協議会応援団長
和築伝承士
問題解決コンサル
准解決士

百年後
古民家になる家

和築
WACHIKU

このような方に「和築」をお伝えします
木造住宅や古民家にご興味のある一般施主様
古民家再生や地域活性化事業に関する地域自治体、自治組織
伝統建築を行う建築会社、設計士

(新築・古民家改修)コンサルタント
和築伝承士

言霊解決事務所
〒729-6616 三次市三和町大力谷10142-4
TEL 080-6340-4936
mitsuyasuy1961@gmail.com
和築HP <https://wachiku.genreikaiketsu.com>
言霊解決事務所HP <https://genreikaiketsu.com>

「和築」は商標取得申請中です



和築HP



言霊解決事務所HP



水引には3つの意味があるといわれています。1つ目は開封されていないという未開封を保証する意味、2つ目は魔よけの意味、3つ目はひもを引いて結ぶということから人と人を結びつけるという意味です。

和築
WACHIKU

百年後
古民家になる家
伝統木構造を後世に。
新築と古民家再生の
お手伝いをします。



こんな暮らしの夢が広がる家づくり

多世代の家族が触れ合う空間

親戚がいつも集まる賑やかな家

縁側で日向ぼっこをしたり

椎茸や大根を干したり

庭や裏山で摘んできた草花でリースづくり

夏は風鈴の音色を聞きながら本を読む

柱に子どもの成長の証を遺すのもいい



「和築」事例



石を基礎に使用した建物。移築が前提なことも和築ならではの。



アールで構成された木組み。高度な技術と職人のチームワークによって造られます。



タワーのある施設。これも和築の伝統木構造。100年先にも美しい建造物として生きています。



漆喰と木組みの美しい内観。呼吸する素材で作られた清潔な施設。

和築（わちく）とは

木、石、土・・・古来の基礎や「伝統木構造」（木組）で国産材を使用して建てる家。建てた時から100年200年と生き続ける家を「和築」と位置付けています。

「和築」と「古民家再生」と「リフォーム」

和築・・・100年後古民家になる建物
古民家・・・和築が100年経過した建物
再生・・・軸組みを新築時の水平と垂直に戻す
リフォーム・・・見える表装部分を新しくする

古民家再生とは「和築」が経年劣化した建物の垂直、水平を同様の材料で整え、さらに100年以上継続して生かすことです。リフォームと違うのは、目に見える部分だけでなく、100年以上生かし続けるという理念のもと、躯体という家の「骨組み」を整えることが古民家再生です。

樹は生きてます
伐ってもなお
活かされるのが
「和築」の家です



卓越した木組みの技術で施工した屋根裏

よくある質問 FAQ

Q 木組みって
どんなもの？

木組みは釘や金物を使用することなく木材をカットして組み合わせることで強度を持たせる技術です。飛鳥時代には確立され、社寺仏閣はこの高度な大工技術で建築され、現在も継承されています。しかし技術の継承が難しく今後も木組みの建築物を絶やさないことが重要です。

Q 夏は涼しく
冬は暖かく
暮らせる？

気密断熱を行いますので
風土に合わせ最適性能に
設計します

Q お家で
たくさん
遊びたい



大きな梁でブランコもできますよ。
躯体を支える大きな梁は大人の体重もしっかり受け止めます。
伝統木構造の魅力の一つです。

Q バリアフリーに
できるの？

間取りは自由にプランできます
間取りの自由度は新築に比べて古民家は制約がありますが、できる限り実現に向けて検討できます。まずはお家の確認から。

Q 予算に沿った
プランができる
だろうか

新築、古民家など条件によっても
予算はまちまち。
まずはご相談ください。

Q 遠方の家族とも
相談したい



ZOOMなどでも可能です
遠方のご家族との合同打ち合わせ
もリモートで可能です。

伝統木構造は自然とともに育つ家

伝統木構造というと宮大工の建てる文化財のお寺やお宮のことを指すと思われがちですが、住宅や店舗でも伝統木構造で造られるものはたくさんあります。しかし和風の建築が必ずしも伝統木構造ではありません。伝統木構造は次の4点が守られている木造技術です。

- 1 主に日本の山で育った木を無垢のまま使う
- 2 架構軸は大工手刻みの無垢材を組んでつくる
- 3 地元で手に入る木、土、草など天然素材を用い職人がつくる
- 4 日本の風土に根差す

伝統木構造の良さは、台風や地震に強く、維持管理をすることで100年以上の耐久性を望むことができます。また材料全て国産または地元近隣から調達できます。自然に還るものを使いますから、ごみをほとんど出しません。

「在来工法」との違い

在来工法と伝統木構造はよく混同されます。在来工法は戦後2×4工法などが欧米から入ってきた際に対比させる目的で言われるようになった造語です。

循環型社会が実現していた江戸時代に完成していた日本の伝統木構造。それを基に造られたものは現在も各地で伝統や観光を支えています。「和築」は伝統木構造を基にしながら、現代に求められる間取りや設備を取り入れ「つながる家族」を創造する建築です。

金具を使用せず
木組みのみで仕上げた
接合技術の一例



四方差し



貫柱



古代鎌

お問い合わせから施工まで

